

働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style [ ビズスタ ]

# 2023 03

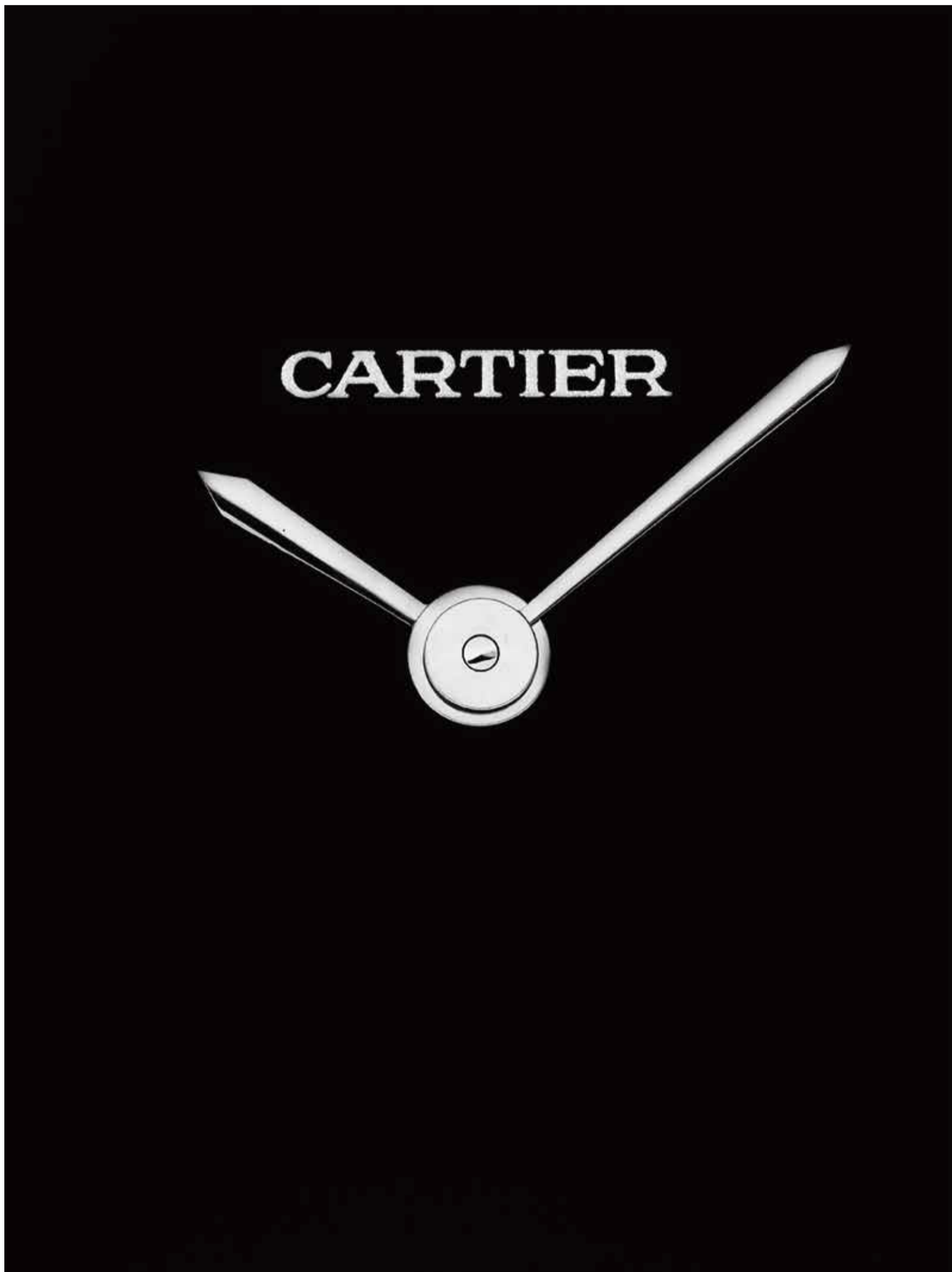
特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、関西、  
仙台、福岡、広島にて49万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2023 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



Paul & Henriette © Cartier

“時”を語る、カルティエ



Paul & Henriette © Cartier

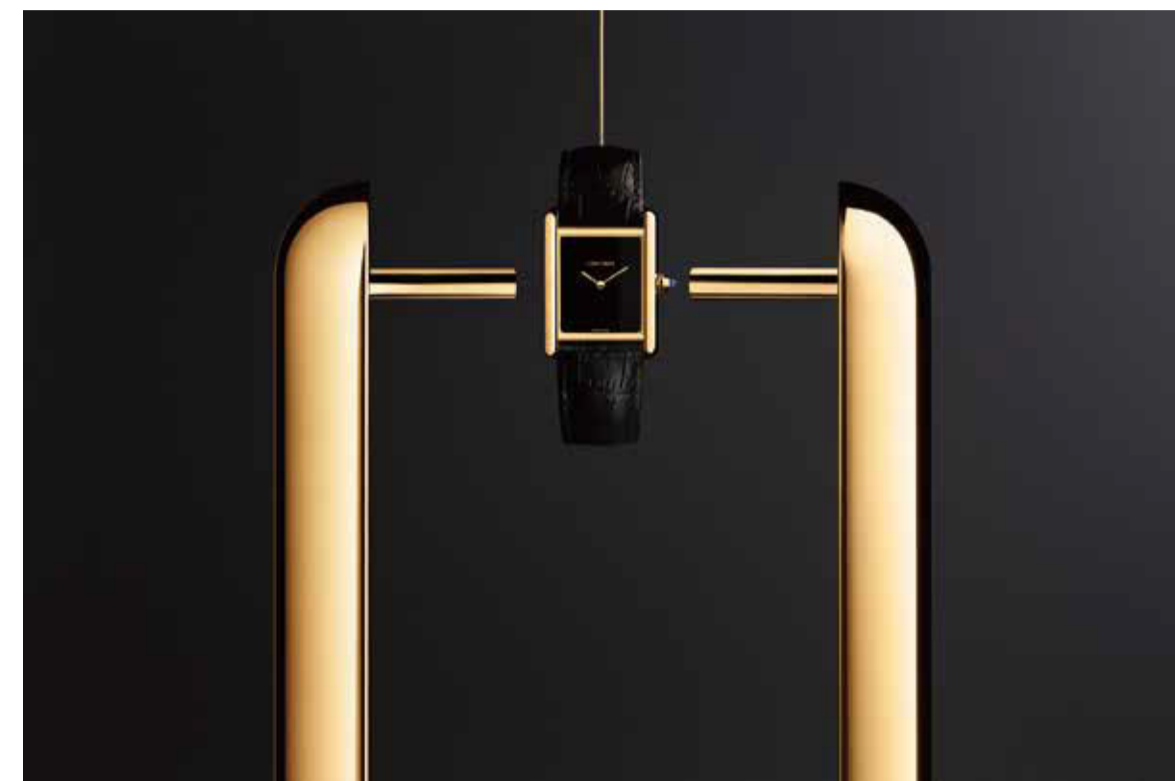
## TANK

### ジェンダーレスな魅力漂う ミニマルデザインの「タンク」

「Less is More」(少ない方が豊かである)というデザインの考え方を体現するよう、削ぎ落とされたデザインが魅力の「タンク」。すべての色を包括するブラックカラーの文字盤には、インデックスもなく、時間束縛されず、自分らしさを謳歌するというメッセージが込められている。最大の魅力はジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さも性別を問わず似合うものだ。タンクは、ジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さも性別を問わず似合うものだ。タンクは、ジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さも性別を問わず似合うものだ。タンクは、ジェンダーレスな佇まい。サイズ感やケースの薄さも性別を問わず似合うものだ。

## カルティエにとって、時間とは？

単に計測する対象ではなく、自らに寄り添うもの。大切なのは、今、この瞬間、この場所。いわば、時間は、「今」を自分らしく、有意義に過ごすためにこそ使うものなのだ。その時の哲学を秘めて、カルティエは、1世紀以上をかけて、時間という千変万化であり、タイムレスで実態のないものを独自のスタイルのタイムピースへと昇華してきた。それは、絶えず可能性の限界、美的感覚の限界、アイデンティティの限界への挑戦となる。まさに、カルティエの腕時計は、メゾンの創造性と卓越した技の結実。身に着ける人を鼓舞し、人生のステップアップに寄り添うパートナーとして、これ以上ふさわしい存在はないだろう。



Paul & Henriette © Cartier



© Cartier

**タンク ルイ カルティエ**  
29.5×22mm クォーツ  
イエローゴールド  
アリゲーターストラップ  
1,372,800円(税込)



© Cartier

**タンク ルイ カルティエ**  
33.7×25.5mm  
手巻き (Cal. 1917 MC)  
イエローゴールド  
アリゲーターストラップ  
1,742,400円(税込)



© Cartier

**タンク マスト**  
33.7×25.5mm  
クォーツ  
ステンレススチール  
アリゲーターストラップ  
434,500円(税込)



© Cartier

**タンク マスト**  
29.5×22mm  
クォーツ  
ステンレススチール  
アリゲーターストラップ  
412,500円(税込)

## SANTOS DE CARTIER

### マニュファクチュールで進化する「サントス ドゥ カルティエ」

「ビジネスシーン」では、各詞以上に持ち主のアイデンティティを物語る存在となる腕時計。「サントス」がこの世に誕生していなければ、時計はもって時間を計測する利便性が追求されてきたかもしれない。現代のファッションも大きく変わっていったことだろう。そういう意味で、「サントス」の功績は非常に大きい。それだけ重要なコレクションは、2000年にスイスのラシャイェンで、2001年に工場を構えてから、徐々に進化を遂げ、自社生産のマニュファクチュールとしての姿勢を表明してきた。2009年には、自社製ムーブメントを発表し、2010年からは外装部分のケースやブレスレットも自社で手がけていく。その結果として、自分で簡単にブレスレットのアリゲーターストラップを交換できる「クイックスイッチ」や、ブレスレットの長さを調節できる「スマートリンク」システムを搭載することが可能になったのだ。新作に見られる独特のブルー文字盤や、スケルトンモデルの登場も、マニュファクチュールならではの卓越した技があっという間に実現できるものなのだ。



Iris Velghe © Cartier



© Cartier

**サントス ドゥ カルティエ**  
47.5×39.8mm  
手巻き (Cal. 9611 MC)  
ステンレススチール  
ステンレススチールブレスレット、  
アリゲーターストラップ各1本  
4,224,000円(税込)



© Cartier

**サントス ドゥ カルティエ**  
47.5×39.8mm  
手巻き (Cal. 9611 MC)  
ステンレススチール  
ステンレススチールブレスレット、  
アリゲーターストラップ各1本  
4,224,000円(税込)



Vincent Wulverryck © Cartier

**サントス ドゥ カルティエ**  
47.5×39.8mm  
自動巻き (Cal. 1847 MC)  
ステンレススチール  
ステンレススチールブレスレット、  
カーフスキンストラップ各1本  
998,800円(税込)

## Men's Watch News Flash

### ルイ・カルティエの伝説をまとう

カルティエのウォッチを語るうえで外せないのが、3代目当主ルイ・カルティエだ。新時代の好きでつねにチャレンジを怠らなず、メンを世界へ発信した。たことでも知られる人物である。その大胆な生き様、現代を生きる男性にこそ、刺激を与えるはずだ。

2022年の新作でも、彼の伝説を語る2つのコレクションが進化を遂げた。特筆すべきは、いずれも魅力的な新カラーが登場した。ひしひしと、メンを代表する人気コレクション「タンク」の系譜を受け継ぐ「タンク ルイ カルティエ」。1917年に誕生して以来愛されている、2本の並行する縦枠「ロウタン」ギョ

ラーケースのデザインを、1920年に再解釈したものだ。縦枠を細くして角を丸くし、ケースを伸ばしたウォルムが特徴で、実際にルイ・カルティエが愛用していたことも有名である。今年注目したいのは、漆黒の文字盤。同じ漆黒の文字盤は、「タンク マスト」の新作にもお目見えした。昨年「タンク ルイ カルティエ」を踏襲し、刷新されたシンプルでデザインにブラックカラーがよく映える。

Alber Elstnerのデザインを、1942年に再解釈したものだ。縦枠を細くして角を丸くし、ケースを伸ばしたウォルムが特徴で、実際にルイ・カルティエが愛用していたことも有名である。今年注目したいのは、漆黒の文字盤。同じ漆黒の文字盤は、「タンク マスト」の新作にもお目見えした。昨年「タンク ルイ カルティエ」を踏襲し、刷新されたシンプルでデザインにブラックカラーがよく映える。



Matthieu Lavanchy © Cartier

# Ladies Watch News Flash

ハイジュエラーの矜持が息づく  
ジュエリーウォッチ



Iris Velghe © Cartier

## PANTHÈRE DE CARTIER

大胆にしなやかに生きる現代女性のアイコン  
「パンテール ドゥ カルティエ」

世界中のロイヤルファミリーや各界のセレブリティを虜にしたカルティエのクリエイション。誇り高さハイジュエラーとして、芸術的なジュエリーウォッチの数々が歴史を彩ってきたことも忘れてはならない。なかでも、1914年に初めて時計として誕生した「パンテール」のデザインは造形の美しさに止まらず、自由を愛し、時代の先をゆく女性たちの代名詞となっていた。最初に「パンテール」の異名を持ち、パリジエヌの憧れを集めたのは、男性中心の社会で、メゾンのクリエイティブ・ディレクターとして活躍したジャンヌトウーサン。その後、抜群のセンスと大胆な行動で魅了したウィンザー侯爵夫人や、パリのファッションアイコンとして注目を集めたティージー・フェロウらが名を連ねる。強い眼差しに、しなやかな

な四肢、野性味あふれるスタイルは、パンテールを体現する多面的な魅力を持つ女性たちのように具体的な造形から、幾何学、抽象まで実に幅広い表現が用いられてきたことも特徴である。

2023年は、宝石のカラーを思わせるプラム、ゴールド、ナイトブルー、ブラックの4つのカラー文字盤の優美なモデルが登場した。見る角度によって、表情が異なる輝きを楽しめるのも、幾つもの顔を持つパンテールウーマンを思わせる。また、インデックスがない文字盤は、時間という概念から解放されて、自由を謳歌する女性を象徴するようだ。一方で、「パンテール ドゥ カルティエ」の魅力が、小ぶりでエレガント

なデザインなのに視認性が高いところと称賛する女性も多く、定番モデルも人気を博している。身に着ける人のライフスタイルに合ったスタイルを選べるのも、「パンテール」がどんな時代でも愛されてきた理由のひとつ。そして、何より、「パンテール ドゥ カルティエ」は、どんな女性の腕元にも似合う。それは、このタイムピースを身に着ければ、女性の中に眠る、パンテールを表す大胆さ、自分らしさ、自信、魅きつける力、優美、しなやかさのいずれかのキーワードが共鳴するからだ。腕元に「パンテール」の輝きがあれば、きつとあなたに寄り添い、豊かな時間が過ぎるように導いてくれるはずだ。



© Cartier



© Cartier



Antoine Pivdori © Cartier

**パンテール ドゥ カルティエ**  
30×22mm クォーツ  
ステンレススティール  
ステンレススティールプレスレット  
594,000円(税込)

**パンテール ドゥ カルティエ**  
30×22mm クォーツ  
ステンレススティール、ダイヤモンド  
ステンレススティールプレスレット  
1,161,600円(税込)

**パンテール ドゥ カルティエ**  
25×20mm クォーツ  
イエローゴールド、ダイヤモンド  
イエローゴールドプレスレット  
日本限定  
3,986,400円(税込)

掲載した商品の価格は令和5年3月8日時点のものです。価格や仕様は予告なしに変わることがございます。

### Biz Life Style Pick up >>>

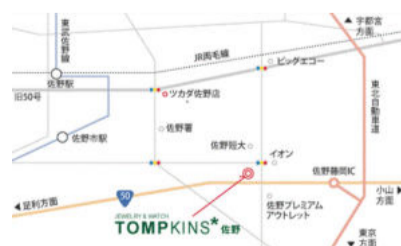
本誌紹介モデルを含め、カルティエ最新のコレクションも充実。  
北関東最大級の品揃えを誇る、憩いの大型時計店。



**TOMPKINS佐野**  
栃木県佐野市高萩町42-1 TEL.0283-22-5550  
営業時間/11:00~19:00 無休

「ニューヨークはマンハッタン」の「トンプキンススクエア パーク」は、ライフスタイルも価値観も異なる多様な人々が集う憩いの場。街の人々に愛され、元氣と癒しを与え続けてきたこの公園のように、多くの時計愛好家が気軽に遊びに行きたくなる場を作りたい。高級感と温かみが同居する「トンプキンス佐野」は、そんな願いから2004年に誕生した新スタイルの時計店だ。

公園に佇む美術館をイメージした店舗には、世界の名門ブランドの名品がズラリ。もちろんカルティエのコレクションも充実し、専用コーナーでゆつくりと手に取れる。北関東随とされる品揃えの実際は、ぜひ店頭で。



取り扱いブランド  
カルティエ、IWC、エドックス、エベラル、オメガ、オリス、ゴリラウォッチ、シャネル、ゼニス、タグホイヤー、ノルケイン、ブライリング、ブルガリ ほか

<https://www.tompkins.jp/>

カルティエ カスタマー サービスセンター  
フリーダイヤル 0120-301-757  
受付時間/10:00~20:00 無休(年末年始を除く)

[www.cartier.jp](http://www.cartier.jp)